SCENERY OF PEOPLE

【すがわら　さちこ さん】青葉

市民愛好者の芸術を気軽に楽しんでほしい

●自宅の居間を開放し、写真や絵画などの愛好家の作品を展示する「ギャラリー二匹のたぬき」を運営してます。展示内容などについては菅原さん☎(24)６６４１へお問い合わせください。
所在地：青葉５丁目５-13（鉄東コミュニティセンター向かい）

人のいる風景
SCENERY OF PEOPLE

菅原幸子さん
SACHIKO SUGAWARA

市内には市民ギャラリーなどの展示場が数か所あります。菅原さんは、写真や絵画などの愛好者が気軽に展示会を開くことができるように、無料で自宅の居間をギャラリーとして開放しています。

「7年ほど前に陶芸を始め、つくった作品の展示会を、毎年10月に自宅の車庫で開いていました。車庫が寒いため、暖かいところで開きたいと考え、居間を使うことを思い立ちました。そのころ、市内には絵画などの愛好者で作品を発表する機会のない方がたくさんいることを知り、こうした方に積極的に個展を開いてもらいたいと思いギャラリーを無料で貸し出しすることにしました。これが**ギャラリー二匹のたぬき**のはじまりです」。

ギャラリーの運営を始めて2年。この間、写真や油絵、水彩画、民族衣装など、愛好者個人や団体のさまざまな展示会を開いてきました。

展示会を開き、ギャラリーの運営を通して、いろいろな愛好者やその方の作品に出会い、新しい考え方や幅広い視点を学ぶことができたそうです。

そして、愛好者にも良い刺激になっているとのことです。

「愛好者が個人で展示会を開くと、ギャラリーがその愛好者の世界で包まれます。作品には作風や作者の心の奥が表現され、来場された方を感動させます。ときには気に入った作品を購入する方もいます。愛好者は、来場された方の『また次回の展示会を期待しています』の一言に喜びを感じ、意欲的につぎの作品づくりに取り組んでいます」と語ります。

「月に20日間ほど展示会を開いていますので気軽にお寄りください。いすに座ってゆっくり作品を鑑賞すると、違ったものが見えてきます。新たな発見を楽しみましょう」と明るく話してくれました。

ギャラリー二匹のたぬき